

ご卒業おめでとうございませう。このような状況の中で高校生活を過ごすことになりましたが、その状況をどう捉えてどんな考え方で過ごすかが大切です。制約がありながらも力を注ぎ文化祭をはじめほとんどの活動を立て続けにやりきってくれた皆さんを誇りに思います。

皆さんには、そのような経験を活かして、これからさらに強くたくましい心で充実した日々を過ごしてもらいたいと願っています。強さにはいろいろな考え方がありませう。たとえば地震に対する建物の強さも耐震と免震があります。免振はしなやかに揺れの力を逃

がして影響を受けずに建物を守るのです。状況によって一概にどちらが良いというものではありませんが、目的や状況に応じて適切な対応が大切です。人としても状況に合わせて外からの力に対して時にゆるぎなく時に粘り強く回復する強さをもつて対処したいものです。

もう一つ強さにつながる例です。地球上には多くの生物がいますが、生物は必ずしも自分にとっての完璧な環境で生活できているとは限りませう。条件が良ければそこで繁栄していきますが、そうでないときはどう対処しているのでしょうか。動物ならば少しでも条

### 贈る言葉

校長 泉谷俊郎

件の合うところに移動するというのが、移動できない植物はどうするか。まずは環境に自分を適合させていくことをしているのです。たとえば、風の強い高山ではハイマツのように樹高を低くして風をしのぎながらマツとしての性質を大きく変えることなく花を咲かせ実をつけて生活しています。むしろ他の植物に入れないほどに広がっている場所もあるから先もいろいろな場面

の植物がそのように適合することで逆にその場の環境を変えてしまいませんか。多くのハイマツが群落をつくることですが、時にはその下には土壌がつかれます。そして風の弱い空間や高湿度で温度変化が小さい植物にとつての好適な環境がしだいにつくられていくのです。このことは、人の社会にもいえるのではないのでしょうか。高校時代に自分を取り巻く環境を冷静にみまわらなければ、自分にとって好ましくない要因になっていないか、方向に使うのではな

いませう。皆さんが力を発揮すれば順調に物事を進められることが多いためですが、時にはうまくいかないことや思うようにならないことがあるでしょう。そのような時にどう考え行動するかが人として自分の思い込みで可能性を閉ざすことはもったいないことです。

植物のようにまずその環境を受け入れて自分から合わせつつも自分の快適な状況を作り出すという行動ができれば素晴らしいことです。時には動物のようにひとまずその場から離れてかわしておくことが望ましいこともあります。大切なのは貴重な自らのエネルギーと時間を思い悩むなどの方向に使うのではなく、未来に繋がる行動に使うということです。事実としてそこにあるものを受け入れてから、自らの力でよい状況に変えていく気持ちをもつてほしいと思います。

一人ひとりがこれからの新しい時代を存分に楽しんでください。これから皆さんがどんな状況にあっても心を強くもちながらめざすことに向かって進んでいってくださることを願っています。そして皆さんの人生とともにこれからの社会をより良いものにしてくださることを期待しています。